

公表

## 事業所における自己評価総括表

○事業所名	ますかっと		
○保護者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月23日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	9	(回答者数) 8
○従業者評価実施期間	令和6年12月1日		～ 令和6年12月23日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	12	(回答者数) 10
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年1月30日		

## ○分析結果

	事業所の強み(※)と思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	職員体制が手厚く、 活動の内容が豊富	新たな試みにも積極的に取り組んでいる。 外部からのアナウンスがあったイベントや 外出等も、車を使用し柔軟に行っている。	常に周囲へのアンテナを張り、重症心身障 害児の支援をより充実させていく。
2	送迎体制が充実している	訪問看護や受診等で通常の送迎時間と異な る場合でも送迎を行っている。	運転手の確保
3	家族支援	ご家庭の状況に合わせ、施設として対応で きることを行っている。 兄弟時等も参加できる行事を行っている。	在宅で過ごすにあたって、ご家族の負担が過多に ないように、社会資源の知識を深め、相談支援事 業所等との連携を強める。 就学に向けての準備を家族と連携して行ってい く。

	事業所の弱み(※)と思われること ※事業所の課題や改善が必要と思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	実技研修の機会が少ない	内部における実技研修の回数が少ないの で、外部講師や職員による研修の機会を増 やす。	東京都社会福祉協議会の研修や、保育士や 児童指導員、看護師、リハビリ職員等によ る勉強会等の機会を定期的に設ける。
2	個別プログラムの内容	音楽や、リハビリ等の計画と同等に、 療育や看護の課題や目標をより明確にし、 児の成長発達に向け継続した支援を行う必 要がある。	毎日の夕礼で、個別支援計画の話をする 際、日々の変化や現状を評価し、情報を共 有しながら、目標達成に向けつなげてい く。
3	新人育成	児童分野の経験がある職員が多いため、未 経験職員が就職した際の教育体制に課題が ある。	新人研修をプログラムに沿って行い、教育 担当だけでなく、施設全体で指導してい く。